

# 事業報告書

## I 事業の概況

### 1 経営環境及び業界の状況

3月11日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心より御見舞申し上げます。

当期における日本経済は、緩やかな景気回復傾向があったものの、年間を通じた円高傾向の継続により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

航空業界におきましては、羽田空港が本格的な国際空港に生まれ変わり、アジアへの定期便をはじめ欧米を含めた国際線ネットワークが加わり、国内線旅客全体の約60%が利用する首都圏空港として利便性が著しく向上しました。

また、日本航空の経営再建に伴う経営合理化により、地方空港間の国内路線の運休や機材の小型化がより一層進められ、利用客確保が困難な地方空港は、新たな航空会社の誘致などに動き出しています。

なお、当ビルにかかる東日本大震災の復旧費用総額として約7千万円が見込まれておりますが、これについては、岩手県からの空港ビル復旧事業費補助金として交付措置をいただいているところです。

こうした状況の中、当期における「いわて花巻空港」の国内便の乗降客実績は245,491人と名古屋線の運休が大きく影響して、対前年比△31.1%、110,596人の減少となりました。また、チャーター便につきましては、台湾等からの乗り入れ便が44便となり、国内・国際合計で49便、6,743人で、4,070人の減少となっております。

#### (1) 定期便・臨時便

路線	乗降客数	前年比	利用率
大阪	140,808人	△6.7%	59.9%
札幌	83,771	△20.9	71.5
名古屋	11,955	△87.9	56.9
東京	8,957	—	90.4
計	245,491	△31.1	64.0

#### (2) チャーター便

(便数は片道ベース)

区分	便数	乗降客数	前年比	備考
国内線	5	710	11便減△52.5%	札幌・福岡・石垣
国際線	44	6,033	27便減△35.3%	台湾・中国
計	49	6,743	38便減△37.6%	

## 2 事業の経過及びその成果

当期の事業収支状況につきましては、営業収益は 326,815 千円、営業費用は 274,565 千円で、営業利益は 52,250 千円（前期比 6.2%増）となりました。

これに営業外損益を加減した経常利益は 37,548 千円（前期比 29.9%増）で、今年度計上した特別損失 8,183 千円を減算後、法人税等を差し引いた当期純利益は 28,401 千円となりました。

主な要因は、収入面で直営売店の売上収入等が減となったものの、費用面においても全般的なコスト削減にともなう支出減が挙げられます。

科 目	金 額	前 期 比
施設賃貸収入	228,696 千円	△ 4.3%
商品売上高	32,702	△ 25.5
広告料収入	15,466	△ 5.0
給油施設収入	15,376	0.2
貨物ビル施設収入	9,757	8.7
その他収入	24,818	△ 23.1
計	326,815 千円	△ 8.1%
売上原価	23,529	△ 27.2
販売費及び一般管理費	251,036	△ 8.4
計	274,565 千円	△ 10.4%

## 3 今後の見通しと対応

当社といたしましては、これからの経営環境の変化と今後の課題を踏まえ、業務内容や事業の見直し、組織のスリム化などの経営効率化を推進してまいります。同時に、地域や周辺企業との連携を強化しながら、県空港利用促進協議会とともに全県的な利用促進に向けた取り組みなどで集客効果を高めてまいります。

また、来期は会社創立 30 周年という節目の年を迎えることとなりますが、これまでと同様に岩手県などの関係機関のご指導の下、航空会社をはじめ入居テナントとの共存を図りながら、関連施設の安全円滑な管理運営に取り組んでまいります。

なお、継続的な CS 調査を踏まえながら、全社的にお客様満足度の向上に努めてまいりますので、株主の皆様方におかれましては、引き続きご指導い

たいただきますとともに、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 4 国際線施設増設工事並びに震災による損壊にともなう資産の処分について

国際チャーター便のさらなる適切な受け入れ態勢を整えるべく、県事業による国際線用ビル機能向上増設工事がおこなわれております。

それにより、1階南側ロビー並びに2階保安検査場の既存壁の一部が撤去されたことに伴い、今期において1,035千円を特別損失に計上し、除却いたしました。

また、このたびの東日本大震災により、建物内トランス2基が破損いたしましたことから今期特別損失に3,183千円を計上いたしました。

#### 5 営業成績及び財産状況の推移

(単位:円)

区 分	第 27 期 平成 19 年度	第 28 期 平成 20 年度	第 29 期 平成 21 年度	第 30 期 平成 22 年度
営業収益	340,579,558	332,090,399	355,634,565	326,815,002
当期純利益	18,362,440	44,978,999	△390,973,243	28,401,483
1株当たり 当期純利益	540	1,323	△11,499	835
総 資 産	1,278,305,743	2,983,482,690	1,601,330,836	1,599,152,548

## II 会社の現況

### 1 主要な事業内容

- (1) 空港ターミナルビルの賃貸及び運営管理
- (2) 航空旅客、航空貨物及び航空事業者に対する役務の提供
- (3) 飲食物、旅行用日用雑貨及び観光土産品の販売業
- (4) 広告業及び宣伝及び広告代理店業

### 2 事業所（本社所在地）

岩手県花巻市東宮野目第二地割 53 番地

### 3 株式の状況

- (1) 会社の発行可能株式総数 136,000 株
- (2) 期末現在発行済株式総数 34,000 株
- (3) 期末現在株主総数 11 名
- (4) 大株主

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率	当社当該株主への出資状況	
			持 株 数	議 決 権 比 率
岩 手 県	10,000 株	29.4%	— 株	— %
日本航空株式会社	10,000	29.4	0	0
花 巻 市	4,000	11.8	—	—
盛 岡 市	2,500	7.4	—	—
株式会社岩手銀行	1,500	4.4	0	0
株式会社日本政策投資銀行	1,500	4.4	0	0
日本通運株式会社	1,200	3.5	0	0

#### 4 取締役及び監査役

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	担当または主な職業
代表取締役社長	阿 部 健	常 勤
取 締 役	平 井 節 生	岩手県県土整備部長
取 締 役	河 野 一 之	日本航空株式会社東北支店長
取 締 役	大 石 満 雄	花巻市長
取 締 役	谷 藤 裕 明	盛岡市長
取 締 役	富 松 利 典	日本通運株式会社仙台航空支店長
監 査 役	永 野 勝 美	株式会社岩手銀行特別常任相談役
監 査 役	井 上 徳 之	株式会社日本政策投資銀行東北支店次長

(注) 当期中の取締役及び監査役の異動

- 平成 22 年 4 月 20 日開催の臨時株主総会において、平井節生氏並びに河野一之氏が取締役に、監査役に井上徳之氏が就任いたしました。
- 平成 22 年 6 月 21 日開催の第 29 回定時株主総会において、取締役任期満了にともなう選任により、上記取締役全員が再任となり、第 151 回取締役会において代表取締役社長に阿部健氏が選定され就任いたしました。

#### 5 従業員の状況

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

区 分	従業員数	対前年比較	平均年齢	平均勤続年数
男	6 名	0 名	48.7 歳	19.6 年
女	5	0	39.6	17.3
合計又は平均	11	0	44.5	18.5

(注) 嘱託社員を含み、臨時社員を除きます。

6 主要な借入先及び借入金額

(平成23年3月31日現在)

借 入 先	借 入 金 残 高
株式会社 日本政策投資銀行	306,250,000円
株式会社 岩手銀行	156,568,000円
株式会社 北日本銀行	93,954,000円
株式会社 東北銀行	62,626,000円
計	619,398,000円